



赤磐

平成23年

3

月議会

市議会だより

No.24

この度の東日本大震災により、多くの皆様が被災されました。亡くなられた皆様のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます、一日も早い復興をご祈念申し上げます。

赤磐市議会



も
く
じ

平成23年度当初予算	2P
3月議会のあらまし	3P
委員会のうごき	7P
10人の議員が一般質問	10P
4月臨時会(人事構成)	16・17P

市議会の会議録がインターネットでも閲覧できます。ご利用ください。



<http://www.kaigiroku.net/kensaku/akaiwa/akaiwa.html>

(※赤磐市のホームページからもアクセスできます)

平成23年度は、安全安心、子育て支援、 高齢者等福祉対策優先の予算

一般会計当初予算178億1,588万円（対前年:3億2,985万円の増）

ごみ処理施設、消防庁舎、学校施設耐震補強、学校給食センターなどの安全安心のための事業、子ども手当給付費、中学校3年までの医療費無料化などの子育て支援のための事業、障害者自立支援の充実など的高齢者等福祉対策のための事業など、市民にとって安心して暮らせるまちづくりを目指した予算となっている。

歳入



歳出



会計別予算規模

会 計 名	23年度	22年度	増 減	増減率
一 般 会 計	178億1,588万円	174億8,603万円	3億2,985万円	1.9%
特 別 会 計	112億8,295万円	113億1,889万円	△3,594万円	△0.3%
国 民 健 康 保 険	48億9,524万円	46億5,669万円	2億3,855万円	5.1%
後 期 高 齢 者 医 療	4億4,291万円	4億9,080万円	△4,789万円	△9.8%
老 人 保 険	0円	501万円	△501万円	△100.0%
介 護 保 険	35億1,959万円	33億2,217万円	1億9,742万円	5.9%
簡 易 水 道	2億3,485万円	2億1,383万円	2,102万円	9.8%
下 水 道 事 業	21億965万円	25億6,185万円	△4億5,220万円	△17.7%
宅 地 等 開 発 事 業	2,053万円	2,680万円	△627万円	△23.4%
竜天オートキャンプ場	1,395万円	1,438万円	△43万円	△3.0%
土 地 取 得	1,834万円	1,805万円	29万円	1.6%
財 産 区	2,789万円	931万円	1,858万円	199.6%
公 営 企 業 会 計	18億6,824万円	18億7,635万円	△811万円	△0.4%
水 道 事 業	11億3,707万円	10億7,653万円	6,054万円	5.6%
赤磐市民病院事業	7億3,117万円	7億9,982万円	△6,865万円	△8.6%
合 計	309億6,707万円	306億8,127万円	2億8,580万円	0.9%

3月議会のあらまし

議案審議

3月定例会を、2月25日から3月17日まで、21日間の会期で開催した。
議案36件および議員発議の議案2件を可決した。
また、請願1件を継続審査、請願4件を不採択とし、人事案件7件を審議した。

土地取得

問 事業計画の中で購入面積の必要性について説明を。

答 平成21年6月に策定した基本構想に基づき進めている。購入予定の土地は実測1万3673・03平方メートルだが、実質的な有効面積は約1万平方メートルになる。

消防庁舎敷地、練習用グラウンド、防災ヘリ離着陸場など考慮。

工事請負契約の締結

問 入札参加者数と落札率は、また一般競争入札条件付きとは何か。

赤磐市任意ワ クチン接種促 進基金条例

問 附則に平成24年3月31日で失効とあるがずっと続けるべきと思うがなぜか。

答 国の臨時特例交付金が23年度までなので、その日までとしたが、市としては継続したい。

市道の認定

答 市内0、準市内3、市外8計11業者。率は87・50パーセント。

条件は①市内業者②準市内業者③県内業者で資格業種は建築一式工事である。

問 認定はどんな時にされるものか。これによって工事が発生するのか。

答 要望があった路線は認定基準要件に合うか、年1回取りまとめをしている。また市が振興策上、必要と認めたならば、新設路線でも認定を申請している。

22年度一般会計 補正予算

問 最終処分場の設計業務に入るということは場所が決定したのか。

答 経済合理性等を比較検討した結果、石蓮寺地区が有利との結論に至った。地元承諾が取れ次第発注予定。

問 3幼稚園の遊戯室にエアコン設置とあるが、他の園の状況は。

答 これですべての幼稚園、保育園の遊戯室に設置される。

問 市立病院事業会計負担金4515万3000円の追加の理由は。

答 事業の経費補てんとして繰り出す。医業収益の減収で事業費用に不足が生じ、また総務省の繰り出し基準額の改正により増額となるが、不足分については一般財源を加えた。

問 図書館費の団体貸出し用資料整備の、内容説明を。

答 幼・保・小・中など

の団体貸出し用図書は整備や高額のため購入を控えていた図書や視聴覚資料など、約1万3000点の購入を予定。

りを減額した。地区からの要望等は今年度は締め切っているが、十分調査して来年度の整備は予算計上している。

問 防犯灯整備費2200万円の説明を。

答 地域活性化・きめ細かな臨時交付金を活用。整備箇所を選定は主要道路、主要交差点、通学路を基本として地域のバランスを考えて、劣化した防犯灯をLED化していく。

問 電波遮へい対策事業費補助金等の減額はもう受け付けないということか。

答 10地区を整備する予定が、4地区実施し、残

問 予備費を財源として1000万円の義援金を被災地におくるとのことだが、花火などの市のメインイベントを自粛し、その費用を23年度予算の予備費のほうへ組み替えてはどうか。

答 担当委員会並びに実行委員会と相談しながら、23年度予算についてはそういう方向で検討していきたいと思っている。

23年度一般会計予算

問 市税全般の滞納繰越分の対応は。

答 公平性を確保するために、担税力がありながら納付だけしない納税者には滞納処分を行使していく方針である。

問 市民バス調査・分析等業務委託料280万円の詳細を。

答 新しい市の交通体系を構築するため、公共交通の現状分析・市民の声の調査等の予算である。デマンド交通も検討する。

問 片鉄沿線地域活性化対策協議会負担金570万5000円予算計上しているが、美咲町等が協議会を脱退するとの報道もある。どのようなものか。

答 備前市・赤磐市・和気町・美咲町で構成されている協議会（美咲町・備前市間の交通機関の確

保目的）の負担金である。

2月8日の協議会で美咲町から脱退の申し出があった。市としては、高校生等の交通手段の確保は必要と認識している。協議会を構成している市町村が減少しても対応する。補正予算の必要な場合もあるかもしれない。

問 岡山県議会議員選挙費の内、158万9000円が一般財源になっているが説明を。

答 県が示す積算表に基づき22年度・23年度の両年度で委託金が交付される。実際の執行と差が生じるために一般財源を含んで予算計上しているが、トータルではすべて県の委託金で対応できる。

問 生活保護扶助費2億7642万1000円は対前年比で2281万5000円の減額になって

いるが。

答 社会的要因の変動に大きく影響を受けるために実績額をもとに予算編成をしている。平成23年度は、被保護世帯数の伸び率を約10パーセントと予測して計上した。当初予算比較では減額だが、前年度実績見込み額よりは1200万円の増額になっている。保護の実施は、今後も国の定めた基準に準拠し、適正に行っていく。

問 資源回収団体報奨金588万円の内容は。

答 PTA・子ども会・自治会等の市民団体が回収する古紙類や缶類などに1キログラムにつき4円の報奨金を交付している。活動を奨励し、資源の再利用およびごみの減量化を図ることを目的としている。団体数は64団体。資源回収量は1470トンを見込んでいる。

問 ごみ処理場（津崎地区）の土地購入費2億8000万円の事業計画の

概要は。

答 国の承認を受けた赤磐市循環型社会形成推進地域計画のとおり、エネルギー回収推進施設が1日当たり44トン、リサイクルセンターが1日当たり6トンの規模で、平成25年度末の完成予定で平成26年度の稼働を目指している。

問 最終処分場の建設基本設計業務2129万9000円の予算計上しているが、場所等は決まっているのか。

答 地元要望や経済合理性等を比較検討した結果、津崎地区に整備するよりも石蓮寺地区に整備したほうが有利であるという結論に至った。3月6日に石蓮寺地区に事業への協力をお願いする。周辺地区には、順次3月中に説明する。地元の承諾後の発注予定である。

問 市内の複式学級の実施計画を作成するに当たって、適正規模について十分検討する。実施計画案は平成23年度の8月末までに作成する。

る。学校統合の実施計画案を作成するに当たって、適正規模について十分検討する。実施計画案は平成23年度の8月末までに作成する。

問 シルバー人材センターの補助金は、国の事業仕分けで大幅な減額になっている。赤磐市では、対前年度比60万円の減額は運営上の問題が生じるのではないか。

答 国の交付見込み額の急激な削減等も考慮して、前年度1010万円から950万円に減額した。シルバー人材センターはより公益性の高い公益社団法人への移行を目指しており、公益目的事業とその他の事業区分を明確にして、さらに地域における高齢者にふさわしい臨時的・短期的な事業に取り組まなければならない。将来的な展望に立った経営努力に一層取り組むよう要望している。

問 市内の複式学級の実施計画は、状況および今後の対応は。

答 笹岡小学校・仁美小学校で複式を行って

問 国民健康保険への繰出金の予算をもっと増額できないのか。

答 一般会計から基準外の多額の繰出しをして、市の財政を圧迫することは、法の趣旨や平等性から適当でない。これ以上の増額は考えていない。

問 農林業就業奨励金と農業後継者育成補助金については、思い切った施策をして将来の農業を充実させるためには、少なすぎると思うがどうか。

答 農林業就業奨励金関係の予算が、多く計上できるように担当課と共に努力したい。農業後継者育成補助金は、毎年の活動計画と収支計画に基づき決定している。

者対策、コミュニティ活動維持などに生かしていきたい。

問 スクールバスの運行経路を、安全性を含めて少し変更できないか。

答 遠距離通学支援のためにスクールバスを運行しているといった趣旨から、ルート変更に対応することは難しいと考える。

23年度特別会計・事業会計予算

国民健康保険
特別会計

問 保険税が4449万4000円減額になっているが、4月から7パーセントの引き上げをする

のになぜなのか。

答 収入の減少による所得割の減少、軽減世帯の増加による減額が一番大きいと考える。

一般被保険者から退職被保険者への振りかえが

事務をする中で、人件費や、環境保全の協定を地区や漁協と結んでいたものを、来年度は操業しな

後期高齢者
医療特別会計

開いた。副管理者としては、その結果、協定書・覚書にのっとって調査をし、問題がなければつける。問題があればそれは計上できないと言っている。

る。

赤磐市民病院
事業会計

問

一般会計からの繰入

下水道事業
特別会計

答 毎年、多額の繰り出しをしており、健全経営に努めていきたいと思う

が、医師の確保が難しいなど、病院のあり方検討委員会でも検討してもらっている。診療所もやるを得ないとの検討もされている。

赤磐市民病院
事業会計

とする決議を行い、可決した。

る告発を否決

赤磐市議会では、「赤磐市元職員及び職員の背任及び虚偽公文書作成容疑調査特別委員会」への出頭を拒否した証人（前市長）の告発を発議し、否決した。

議員定数条例
を可決

赤磐市議会では、次の一般選挙より議員定数を18人とする議員定数条例を発議し、可決した。

百条委員会の
23年度調査経
費を決議

赤磐市議会では、「赤磐市元職員及び職員の背任及び虚偽公文書作成容疑調査特別委員会」にかかる23年度の調査経費について、300万円以内とする決議を行い、可決した。

百条委員会への
出頭拒否に対す
る告発を否決

赤磐市議会では、「赤磐市元職員及び職員の背任及び虚偽公文書作成容疑調査特別委員会」への出頭を拒否した証人（前市長）の告発を発議し、否決した。

人事案件

次のとおり適任とした。

監査委員

藤原 光利（長尾）

任期

平成23年4月1日～
平成27年3月31日

固定資産評価審査 委員会委員

野田 博（桜が丘西）

木津 恒良（斗有）

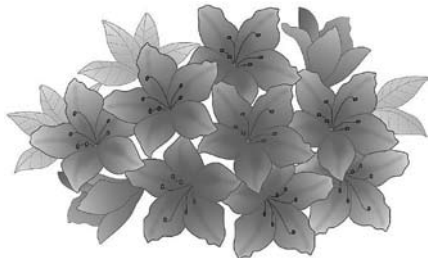
中島 鎌一（坂辺）

坂本 堅志（可真下）

角南 初美（周匝）

任期

平成23年5月19日～
平成26年5月18日



教育委員

日名 智子（下市）

任期

平成23年5月20日～
平成27年5月19日

反対討論

議第24号 平成23年度赤磐市一般会計予算

議第25号 平成23年度赤磐市国民健康保険特

別会計予算

財政調整基金から国保会計へ繰り出しを増やせば、
国保税の引き上げをストップできるので、反対である。

議第29号 赤磐市下水道事業特別会計予算

反対討論中、付託案件でないことにより、議長が
発言の取消を求めたが、了解の得られないままやり
取りとなった。地方自治法第129条の規定を適用
し、発言の停止と自席へ帰ることを議長が促すも同
意が得られず、議員は退場を命じられた。

請願

請願第1号 国の存亡を危うくする環太平洋連携
協定（TPP）への拙速な参加に反対する請願

【継続審議】

【要旨】 TPPへの参加は農業へ甚大な影響を与える
のみならず、食料安全保障の観点から国の存亡を危
うくする可能性が高いため、拙速な参加に反対する。

請願第2号 無年金・低年金者に緊急措置を求め
る意見書の採択を求める請願

【不採択】

【要旨】 年金支給額の低下は国内需要の拡大に逆行す
るものである。また、無年金・低年金者への一定の
所得保障は経済成長にも大いに寄与するものと考え
られる。そのため、2011年度の年金の据え置き
および全ての高齢者に基礎年金国庫負担相当額を支
給することを求める。

請願第3号 年金受給資格期間の短縮を求める意
見書の採択を求める請願

【不採択】

【要旨】 「年金受給資格期間25年」は今の社会状況に
あっていない。今後無年金・低年金者の増加を食い
止めるため、年金受給資格期間を10年に短縮するこ
とを求める。

請願第4号 安全・安心の医療・介護の実現を求
める請願書

【不採択】

【要旨】 安全・安心の医療・介護の実現のために看護
師等の大幅増員・夜勤改善を求める。

請願第5号 議員定数削減に反対する請願

【不採択】

【要旨】 議員定数削減は、民意の反映と議会での少数
意見の尊重に逆行し、住民自治と民主的議会の実現
を妨げるものであるため、反対する。

【賛成討論】 議員削減は、地方政治の弱体化をもたら
し、国政における議会制民主主義にマイナスの影響
を及ぼすことにつながるので賛成である。

総務文教 常任委員会

3月10日に総務文教常任委員会を行った。
議案10件および請願1件について審査した。

22年度 一般会計 補正予算

問 社会教育費の需用費の中の2669万6000円は図書資料の購入と
いうことだが、図書資料
購入の完了予定が24年3
月末になっている。なぜ
1年以上もかかるのか。
答 図書資料の購入につ
いては、新刊が出るとき

に新しい図書を購入して
いくのが利用者にとって
便利がいいが、当初に一
括で購入すると時期に偏
りが出るため、約1年間
にわたり新刊を購入して
いく計画としている関係
で、年度末までの購入予
定としている。

23年度 一般会計予算

臨時職員賃金

問 臨時職員の待遇
への対応はどうか。
しているか。

答 従来は事務職の
臨時賃金が1時間当
たり710円だった
ものを23年度予算で
は800円というこ
とで計上している。

中央図書館



広報紙 配布委託料

問 全体としてどうい
うふうに配付されてい
るかつかんでいるか。

答 配付委託料は年間1
世帯900円で町内会と
契約を結んで町内会に委
託している。把握してい
る範囲ではそれぞれの町
内会で実際に広報を配布
してもらう人に手数料と
して町内会から渡しても
らっているのが大半だと
考えている。

市民バス

問 市民バスの調査・分
析等の業務委託が計上さ
れているが、それと公共
交通会議との関係は。

答 23年度と24年度で赤
磐市全体の交通体系を見
直す計画としており、そ
のとき大きく変わるよう

なことがあれば必要に応
じて交通会議を開催した
いと思っている。

図書館費

問 ①図書館の利用率・
蔵書率は。

②中央図書館の付帯設備
が有効に活用されていな
いように思うがどうか。

③旧町それぞれの図書館
においては限られた人し
か利用していないような
状況も聞くが、どのよう
に把握しているか。

答 ①利用率は前年同期
と比較してのべ貸出人数
で約11万人、約3パーセ
ント増えている。また、
貸出冊数としては約47万
4000冊、約1.7パー
セントの増加である。蔵
書率については現在市民
1人あたり5・3冊とい
う形になっている。来年
度はかなりの予算を組ん
で約1万3000点蔵書
を増やしたいと考えてい
る。

②付帯設備である多目的
ホールについては、利用
日数としては2月末時点
で前年同期と比べて約60



季節の野菜

学校給食

問 給食における
地産地消について
どのような実践を
しているのか。

いる。これらの努
力で地域の格差を
少しでも解消でき
ればと思う。

答 農協や青空市
場などを通じてさ
まざまなものを入れてい
る。また、納入業者に登
録してもらい、野菜や卵
などいろいろなものを入
れてもらっている。米に
ついては100パーセン
ト赤磐産の米を使ってい
る。加えて、農林課に地
産地消の研究会があり、
そちらと連携・調整して
生産者の協力を要望して
いる。地産地消に取り入
れられるものについては
取り入れるということ
で、月2回以上は地元産
を使う献立を作ってい
る。なるべく多くのもの
を使えるよう栄養士に指
示しており、できるだけ
今後も考えていきたい。

パーセント増えている。
利用件数としては176
件、約7400人が多目
的ホールを利用している。
③21年度から22年度にわ
たって見ると、どの館も
利用者はほぼ横ばい状態
である。ただ、中央館と
比較して地区館は蔵書数
が少ないことから、電話
・ファックス・インター
ネット等を利用した図書
の予約や、図書の配送便
による地区館への図書の
配本といったシステムを
とっている。加えて、23
年度の予算にも反映して
いるが、障害者の人や図
書館に来られない人等に
対し、郵送により図書を
届けるサービスを考えて

厚生 常任委員会

3月7日に厚生常任委員会を行った。
議案11件、請願3件について審査した。

条例改正

任意ワクチン接種 促進基金条例

問 ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種後の死亡を受けて、接種を一時見合わせている。接種時期が5歳未満までだったが、見合わせによって受けられなくなることはないか。

答 厚生労働省の専門委員会でも検討されるそうで、それまではわかっていない。

問 子宮頸がんワクチンが不足するため、高校2年生まで受けられるということだが、本市は足りているのか。

答 供給量の不足は春先だけで、7月ごろには回復する。ワクチン不足で

接種できなかった人には本市もそうに考えている。

問 子宮頸がんワクチンは、助成券の有効期限はいつまでで、そのための周知はしているのか。

答 有効期限については、高校1年生は3月末までに1回でも接種したら高校2年生まで。他は平成24年3月31日までである。

問 周知方法は、助成券を渡すときにパンフレットを付けて説明している。広報4月号にも載せる。

22年度 一般会計 補正予算

問 アダプト事業推進補助金の減額の原因は何か。

答 当初28団体が登録されていたが、内5団体が

休止。理由は構成員の高齢化である。

問 資源回収団体報奨金、70万円の減額は報奨金を、6円から4円に下げたためか。

答 平成21年度から報奨金を1キログラム6円から4円に下げたが、21年度の回収量は大きく減っているとはいえない。

22年度 市民病院事業 会計補正予算

問 外科医の状況はどうなっているのか。

答 大学から木曜日の午前、金曜日の午前・午後、医師会から土曜日の午前に派遣を受けている。

問 救急病院の指定に問題はないのか。

答 昼間の外科医のいる時以外は内科のみの対応

23年度 一般会計予算

問 法律相談実施委託料について、相談が月1回しかないが、たくさん利用されているので増やすことはできないか。

答 月1回、2人の弁護士で行っているが、ほぼ100パーセントの利用率になっている。各支所の巡回法律相談を年に3回ずつ実施しているの



狂犬病の予防接種

ている。
問 講師派遣委託料168万円はなにか。

答 「まちづくり塾」の三期生を募集し、一期、二期生を含め職員研修も兼ねる。これらの研修にともなう講師派遣の委託料。

となる。内科だけでも救急病院の指定に問題はない。

問 狂犬病の予防接種件数が少ないが、犬の登録をしなくても問題はないのか。

答 予防接種は市が行っているのと、各自が動物病院で受けて届けてもらう場合の2ケースがある。予防注射済証を有料で発行しているが、済証を求めない人がいる。基本的に登録は飼い主の責任である。

問 ごみの収集委託について、新施設に向けて収集委託に出すのがいいのか、直営でやるのがいいのか、検討が必要だが見解は。

答 現在のごみの収集方法は、山陽は職員および

シルバー、委託業者でやっている。赤坂は委託業者。今後職員とともに協議していく。

23年度 介護保険 特別会計予算

問 介護従事者処遇改善臨時特例基金について。また改善の成果は。

答 基金の用途は各事業者に任されている。事業所の赤字補てんや、一時金の支給、手当の支給など様々である。

問 成年後見制度利用支援費について。

答 基本は弁護士や司法書士など第三者がついた場合、家庭裁判所が指名する。後見人の働き具合によって、1年後に報酬が決定する。後見を受けている人が低所得で申し立てもできない場合、市が支援する。今回1人分で、市の助成額は月額1万8000円を限度としている。今後増える可能性がある。

産業建設 常任委員会

3月9、14日に産業建設常任委員会を行った。
議案18件、請願1件について審査した。

条例改正

受益者分・負担金 徴収条例

問 下水道事業を統一することはできないか。

答 現在のところは、公共下水道、特環下水道、農業集落排水の3本立てで行っており、統一は考えていない。

問 6月1日に施行する理由は。

答 昨年の6月に供用開始した所があり、住民説明で1年以内は5万円と



増えるカラス被害

説明しているので、その1年間が経過するまでは現行のままでもいい、以降23年6月1日から施行するものである。この条例改正により、3年以内に設置することで該当になる人は106件である。

問 現行の5万円を4万5000円に減額することにより不合理が生じる。

5万円は変更せず、普及率を高めるため2年目、3年目の人にも奨励金を交付するのであれば、受益者にとってなるべく有利な条件にしてほしいかどうか。

答 現在、山陽地域の接続を順次整備しており、山陽地域はスタートから4万5000円、3万円、1万5000円で交付している。基本的に他の地域はほぼ供用開始して1

年経過したということ、時期を設定し、現在の山陽地域に合わせた。若干の損得は出てくると思うが、理解してほしい。

問 近隣市町村で分割納付ができるよう定めているところがあるか。

答 備前市が5年以内、和気町が3年以内である。

問 分割納付する場合は、確約書等とってもらいたい。

答 滞納が増えないようにやっていきたい。滞納が増えるようであれば、制度全体をもう一度検討したい。

22年度 下水道事業 特別会計 補正予算

問 グリーンタウン殿谷の人は全員加入してもらえるのか。

答 38戸全員加入する確認をとっている。

問 グリーンタウン殿谷の配管計画は、どの程度を考えているのか。

答 現在の計画では、今建っている家のところは、実施設計に入れている。

**23年度
一般会計予算**

問 有害鳥獣捕獲補助金について、獺期と獺期外の単価を統一して、もう少し金額を上げてはどうか。

答 一昨年、昨年とかなり捕獲頭数が増えてきており、予算は増額している。今年度はこの形でやり、今後、協議会等で意見を聞きながら検討していきたい。

問 観光費の業務委託料の花火大会について、全額一般財源でやるのはおかしい。

答 現在市が直営でやっているが、形としては直営から移し実行委員会等を作ってやっていきたいと思っている。まずは、受け皿になるところを考え転換していきたい。また、予算については、東日本大震災が発生し、被害者が人がどれくらいになるかわからない状況の中で、市直営で花火等やるのがよいのかどうかについても、十分検討したい。当初予算については凍結をし、今後の状況を見ながら委員会へ相談する。

**23年度
下水道事業予算**

問 補償、補填及び賠償金の、中村区井戸補償費について、地元説明会はあったのか。誰から要望があったのか。なぜ水道をつなぐ必要があるのか。

答 中村区の井戸組合から要望があった。

問 下水道との因果関係はどこにあるのか。経過

説明をしてもらいたい。

答 平成11年6月に中村区の下水道工事を行った。14年6月ごろ下水道工事で井戸が濁ると苦情があり、地元立会いのもとで調査をしたが濁らず様子を見ることにした。15年6月ごろまた苦情があり、再度調査したが濁らず様子見となった。16年にはモルタルで補修した。その後も6月や大雨のたびに濁っていたので、平成19年3月に代替の井戸を新設した。

問 井戸がだめなら井戸を直すべきではないか。

答 補償費で出す以上ならんらかの損害があったというところで、それがはっきりしないと補償費は出せないと思う。はっきりするまでは予算執行できないと思うので、予算を凍結したい。また調査した結果を受けて執行できるかどうか委員会に諮りたい。

一般質問

市の考えを問う

10人の議員が登壇し市の考えをたどしました。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。



問

桜が丘東サッカー場の
大学からの回答内容は

答

使用困難との回答があり
貸出しは保留とする



北川勝義議員

はどうか。

問 前回一般質問した①介護保険料の納付状況と委託業者の瑕疵②赤坂・吉井地域の小学校統合③産業集積地への企業誘致の進捗状況はどうか。

答 ①1人が未納で文書や電話で納付依頼している。委託業者に50万円を弁償してもらう②8月末までに実施計画を作成する③USS岡山、USS物流の各申請許可が昨年12月27日に、ホリカワ運送は4月上旬の見込み。

問 有害鳥獣対策で①猟犬に助成は②皮・肉等を利用・加工できないか。

答 ①考えていない②近隣の処理加工施設等の運用状況を参考に検討する。

問 コンポストセンター廃止に伴う市の協力は。

答 国が承認する事業への転換ができれば補助金返還が減免となる。財源確保に伴う国・県への要望をバックアップする。

問 ごみ施設の進捗状況

答 2月6日の津崎地区地権者会議で最終価格の提示を行い理解いただいた。最終処分場は比較検討の結果、石蓮寺地区が有利となり早期に事業着手できるよう調整する。

問 入札関係で市内業者優先となっているのか。小規模工事は旧町別で入札実施してはどうか。

答 市内企業に優先的に入札参加の機会を付与している。地域性を勘案し入札制度の改革をする。

問 墓地問題で結論を出すべきではないか。

答 財政が厳しく早急な取り組みは難しい。事業は休止している。市の一般財源を持ち出さない形での事業を検討している。

問 法令順守で①吉井中学校のUSBメモリー紛失の件、水道料金滞納を他人に送付した件②21年度に事業を実施し、22年度で支払っていないか。



サッカー場予定地(桜が丘東1丁目)

答 ①個人情報情報は厳重な管理が必要。再発防止に努める。②下水道マンホール鉄ぶたかさ上げと吉井中学校スクールバスのタイヤ交換の事例があった。

問 桜が丘東サッカー場について、昨年12月に環太平洋大学の訪問があったと思うが内容は。

答 大学から文書を持参されたが市が提示している回答になつていなかった。その後、大学から回答があり、環境整備が整っていない現状では使用困難との判断をされている。環境が整うまで保留とする。

表紙のひとこと

砂川の上で泳ぐ鯉のぼり

厳しい寒さだった冬も終わり、桜のつぼみも開き始めた4月3日(日)から、赤坂地区の砂川に18匹の鯉のぼりが泳ぎ始めました。今年は、3月11日(金)に発生した東日本大震災をうけ、「みんなでがんばろう! 日本」「被災地支援のため、私たちができることをしよう」という応援メッセージを書いた手作りの鯉のぼりが一緒に掲げられています。また、大震災が早期に復興するようとの思いを込め、鯉のぼりの間には黄色のハンカチが取り付けられています。鯉のぼりの願いが届き、1日も早い復興を祈っています。

問 ごみ処理施設計画の現状と見通しは

答 地権者から了解は得たので、25年度末までに本体工事



金谷文則議員

いか。最低限の礼儀を身に着けるような教育をお願いできないか。

答 教育委員会としては、新成人の主体性に任せており、個々の独自性も認められるべきものと考えている。

問 犯罪被害者基本条例は制定に向けてやるんだと、理解してもよいのか。

答 はい。

鳥獣被害対策の取り組みについて

問 初めて市民に対して有害鳥獣対策セミナーが行われ、大変好評を得た。今後も続けて欲しい。特定外来生物、特にアライグマに対しての対策はどうか。生息確認のためのトラップはどうか。鳥獣害の駆除した死骸などが焼ける施設を、新しくできるごみ処理施設に作ってはどうか。通学路にイ

ノシシが出没している。教育委員会は安全のための、スクールバス経路変更はできないと言うが、運行延長すれば安全に通学できる。教育委員会の予算が難しければ、他の予算で何とかならないか。

答 セミナーを、今後も計画していく。特定外来生物の防除実施計画を策定すると共に、アライグマの捕獲期間の設定など関係機関と調整を図りながら考えていく。また、生息確認のトラップについては、テストケースとして、希望者に渡したい。動物の死骸を焼く施設については、検討する。スクールバスについては、教育委員会が必要であると結論が出れば、予算面については考えたい。



有害鳥獣対策セミナーのようす

問 雇用創出事業の交付金で雇用創出の強化を

答 創出人数は57人で、引き続き6事業行う



福木京子議員

連携して、検討していきたい。住宅リフォーム助成については困難である。

大規模事業を見直すべき

問 平成23年から25年にかけての大規模事業、27年からの合併算定がえの縮減により、財政状態の悪化が予想され、33年に財政基金が底をつくという市の中・長期財政見通しだ。これでは本来の自治体の役目である福祉の向上、充実がでなくなる。大規模事業を見直すべきだがどうか。

答 ごみ処理施設、消防庁舎、学校施設の耐震化、給食センターの建設など24年、25年を中心の実施する。その後の建設事業は大幅に縮減する。全ての事業

問 2011年度まで延長された雇用創出事業交付金で、若者雇用対策、地域包括支援センターの強化、ごみ出しが困難な市民への個別収集、買い物難民対策、住宅リフォーム助成制度など取り組んではどうか。

答 2月1日までの創出人数は57人で、若者雇用対策は行っていく。買い物難民対策は、ニーズがあれば福祉分野とも

地域交通の充実を

を見直して持続可能な財政運営をしていく努力をしていく。

問 地域交通は宇野バスの循環バスも含めて、利用状況は。利用者の声を聞いて見直しされているのか。デマンドタクシーの検討は。便利で利用しやすいべきかどうか。

答 市民バスの21年度の利用者は2万678人。利用者の声は聞いており、利用しやすい運行を目指している。23年、24年度で公共交通の見直しをするための予算を計上している。25年度には新しい体系で実施したい。



赤磐市民バス

問 3歳児童教育制度の一部見直しを

答 小学校の通学区域に基づいていく



松田 勲議員

直しと、小学校の学区の
関係とも考慮していくべ
きではないか。

【答】平成23年度以降は従
来の3歳児のみ幼稚園を
選択できる制度を廃止
し、通学区域に基づいて
入園することにする。

通学区域において定員
を超える入園希望の状態
が継続して起こる場合
は、検討する。幾らか弾
力的に考えて人的な支援
を考えていくことも可能
だ。

ネオポリス内の中 央交差点の改良を

【問】マックスバリュ付近
の交差点は、団地内の頂
上に位置し、交通の要衝
にもなっている。大きな
事故の発生も団地内では
一番多く、右折車線もな
ければ矢印信号もない。

安心して右折できない状
況である。

また、角地のショッピ
ングと西5丁目の理髪店
との間からは、右側が上
り坂になっている上、植
木や電柱が視界を遮り、
出るのが大変危険。

周辺の地域や地権者と
も協力をいただき、矢印
信号の設置と交差点付近
の環境整備を早急に進め
ていくべきではないか。

【答】中央交差点の改良を
県に対し、積極的に要望
していく。

5丁目についても中央
と一体に考え、周辺の再
開発を含めた検討を地域
の人達、関係者に協力を
いただき、できるだけ早
い時期にできるように努
力する。



桜が丘中央交差点付近

問 防災計画の具体化は

答 まだ十分ではない



原田素代議員

ニユアル等の作成地区
数」は現状は0。平成32
年には目標68地区となっ
ている。また自主防災組
織の確立計画等は、どう
なっているのか。

【答】計画書の中身につい
ては、まだ十分ではない。
地域やボランティアとの
連携、また講座も必要で
ある。十分社協や担当部
局とも協議して進めたい。

広報あかいわの 編集「理念」は

【問】2月号の成人式特集
の写真掲載について、市
民から厳しい意見を多数
いただいた。特に、着物
を着崩して肩を露出させ
ている写真に非難が集中
した。「見て不愉快」「税
金を使って作る広報紙に
取り上げるべきでない」
など。社会人である彼ら

【問】市民アンケートによ
ると、「災害に対する危
機感」は82・8パーセント
と高い。一方「防災対策
が不十分と思っている人
は71・4パーセント」と
やはり高い。このように
市民の防災に対する危機
感はかなり高いことがわ
かる。

また社協が主催した災
害ボランティア講座（初
級編）は予想を上回る参
加があった。

しかし防災計画の中
で、「地区別災害対応マ



緊急支援物資仕分けボランティアのようす

が責任をもって運営する
式について、指図するも
のではない。問題は広報
紙の編集理念はどうなっ
ているのか聞く。

【答】「ありのまま」伝え
る。「わかりやすく」「親
しまれる」を目指してい
る。

【問】「ありのまま」とはあ
る意味責任放棄、無責任
である。私が思う「理念」
とは市民に情報を提供
し、市民から情報を提供
してもらう、双方向の情
報媒体である。また、市
の公式な「顔」でもある。
どの世代の人が見ても、
不愉快に感じるような編
集であってはならない。

【答】いろいろなご意見を
いただき、改めるべきと
ころは改めたい。

問 火葬場建設について

答 火葬場建設は 適地があれば行う



川手辰夫議員

も行政サービスであり、また格差是正のために補助金も考えるべきである。

答 火葬場の建設については、平成21年度中に亡くなった市民は441人で、和気北部衛生施設組合を利用した人が61人、柵原、吉井、英田火葬場施設組合を利用した人が71人、その他岡山市などの火葬場を利用した人が309人である。利用料金は大人の場合同1万2000円から4万5000円と大きな格差が生じている。議会をはじめ自治連合会からも火葬場の建設の要望を聞いている。合併特例債の適用事業とともに、地元から推薦をもらえるような適地があれば比較検討を行う。

問 現在使用されている火葬場は柵原・吉井・英田火葬場施設組合柵原斎場、和気北部衛生施設組合火葬場、東山斎場、西大寺斎場と多岐に渡っている。また分担金として柵原、吉井、英田火葬場施設組合には年間403万8000円、和気北部衛生施設組合には年間863万4000円を負担している。山陽・赤坂地域の人が利用すると使用料が高くなる。分担金は市全体の税金であり、市民の不公平感がぬぐえない。地域格差を無くすの

問 22年3月議会において、老朽化に伴う学校給食センターの建て替えの際、食物アレルギー対策

として除去食の施設を導入してもらえないかとの質問に対し、今後慎重に検討するとの答弁だったが、その後のような検討がなされ、どのように実施するのか。市長は常に子ども、子育ては大事だといわれている。市長の考えはどうか。

答 食物アレルギー対策として、現在各学校給食センターで統一された除去食対応を行っている。マニュアルに基づき、保護者からの対応食申請を受けて、学校・家庭・給食センター等各関係機関が連携して、調理工程の最終加熱直前に除去できる献立について除去食対応を行っている。統合の新学校給食センターには、独立した除去食用の専用調理ブースを設けることを検討している。



楽しい給食

問 税金などの滞納総額を減らす徴収対策は

答 悪質滞納者には 差押えや法的手段で厳しく対応



樺野志郎議員

セントの増加である。

市税については、現年度の収納率を向上させて滞納とならないように督促、催告、呼び出しなどで納税を促している。

滞納者の実態を十分把握しながら公平な税負担の観点から、悪質滞納者には厳しく対処していきたい。使用料、貸付金などについても戸別訪問などで納付を促し保証人との交渉も行っていきたい。財源確保の上からも、市全体として取り組む。

問 税金、負担金、貸付金などの滞納金総額はいくらになるか。年何パーセントぐらい増減しているのか。

答 滞納を減らすための有効な総合対策は何か。市の平成21年度滞納総額は14億6047万円、20年度に比べて1パー

問 滞納金徴収対策として、戸別訪問、呼び出しによる納税相談、最後の手段として差し押さえの3つのやり方があるが、最も有効な手段として力を入れるのは



税制のパンフレット

どれか。

答 21年度から力を入れているのは預金の差押で21年度は3件で36万円の徴収実績だったが、22年度は1月末現在で72件、1083万円あまりの実績をあげ、2月3月も多額を予定しており成果も上がってくる。

問 徴収努力をされているが、全体として滞納が増えている。滞納額を減らすための数値目標を立てて取り組むべきでは。

答 数値目標についての検討もしていきたいが、まずは年々の滞納額の増加を止める。減額の方を一義に、第一番に考えて頑張っていきたい。

問

くらし直撃の国保税の
引き上げはやめよ

答

平等性の観点から
やむを得ない



川澄章子議員

問 市民の暮らしを考えれば、こんな時にどうして上げるのか。基金が80億円以上ありながらなぜ、6800万円が出せないのか。結局のところ、まじめに払っている人に一層の負担を強いるものであり、滞納者を増やすだけだ。

国保は扶助ではなく保

障が基本だ。国が増額負担すべき所だが、それができるまで地方行政がすべきではないか。

答 国保運営協議会より

改定やむなしとの答申を頂き、12月議会でも議決され、毎年多額の赤字となっている後期高齢者分だけの改定は平等性の観点からやむを得ないと考える。

使用困難との
判断に市は
なぜ保留なのか

問 大学側が環境が整っていない現状ではサッカー場として使用困難と判断したとあるのにそれがどうして保留になるのか。大学側から要望があったのか。

答 大学側が使用困難と判断しているので、計画を進めることにはならな

い。現状は我々とすれば保留状態になっているということだ。

ごみ焼却炉の
規模を40トン以下に

問 中・長期の財政見通しの中で事業の縮減、延期、地方債発行の抑制が

提言されていたが、ごみ焼却炉の規模を、徹底した減量の取り組みで40トン以下をめざすべきと思うがどうか。

答 減量化を進めた上で

ごみ量年間9469トン、リサイクル残渣を加え9603トン、15パーセントの災害ごみを加え稼働日数280日および調整稼働日数の0・96で割り戻して44トンの規模にしているの、これ以下では適切な処理に支障を来たと予想される。

問

高齢者による介護支援ボランティア・ポイント制度の導入を

答

検討する



治徳義明議員

問 市町村の裁量で介護保険制度における地域支援事業として、高齢者による介護支援ボランティア活動（ポイント制度）を推進する事業を行う事が平成19年より可能になった。

介護支援ボランティアの活動実績に応じてポイントが付与され、交付金等が支給される制度である。ポイントは介護保険料や介護サービス利用料に充てることが可能であり、実質的な保険料負担軽減になる。それだけでなく、高齢者が活動を通

現場等で大きな効果が得られることが認められてきた。本市の取り組みは。答 ①相談・個別指導を実施している。相談件数は144件である。利用者が増えているので23年度は増員する。今は低年齢層中心の支援だが、今後高齢者の支援（就労の問題も含め）ができるよう検討していく。②支援の必要な児童・生徒への利用を進めている。今後とも充実を図っていく。

『緊急連絡カード』について

問 高齢化に伴い65歳以上の緊急搬送者数は増加傾向である。一方、過疎や地域コミュニティの希薄化、また、独居高齢者の増加などで、特に高齢者が倒れた場合に必要

な情報が救急隊員や医療機関に伝わりにくい問題が指摘されている。『緊急連絡カード』の高齢者への配布は素晴らしい取り組みと考えるが状況は。答 単にカードを配布するだけでなく地域福祉ネットワークの構築に寄与している。今後とも機能強化を図っていく。

問 県下15市のうち警察署の無いのは赤磐市だけである。平成17年の合併以来市民の安心・安全の要として赤磐警察署の市内への移転を県に要望してきたが、未だ実現していない。市長として市民に安心・安全を提供するため、県に対して赤磐警察署の赤磐市内への移転を強く要望すべきではないか。

問 赤磐警察署の移転を強く要望せよ

答 関係機関に強く要請する



山田秀士議員

答 赤磐警察署の移転については、直接知事・県警本部長にお願いしてきしたが残念ながら進展していない。安心・安全な赤磐市を築く事は私の最重要施策で警察署は最重要施設と位置付けており、関係機関に強く要請していく。

問 井上市政2年間と今後の取り組みについて

答 市長に就任して2年、市長自身市民との約束がどれ位実現できたのか。多くの課題が山積しているが今後2年間何を重点に市政に取り組むのか。私は2年間見て市長選のしこりが若干あったのかと感じている。今後2



赤磐警察署

年間わだかまりを払拭し、市内の融和を図り、市政に取り組むのも市長の仕事と思うがどうか。ごみ処理場については評価しておく。

答 就任以来、自立・自律を基本とし、社会福祉・子育て支援・教育の充実・産業振興等を、国の交付金等を有意に活用し全力で取り組んできた。今後については実施計画、予算編成を行い取り組みでいく。ごみ処理施設も建設に向けて進めて行く。選挙のしこりについては、私は特に思っていないがあるのかもしれない。私自身気をつけてやっていく。

議会を傍聴しませんか!!

本会議、各委員会は一般に公開され、どなたでも自由に傍聴することができます。市政の動きや議員活動を知るためにもぜひ傍聴してください。(本会議：定員30人、各委員会：定員5人)(※委員会は、定員を超えた場合委員長の対応によります)

また、本会議・委員会の日程については、赤磐市議会のホームページに記載しております。

本会議については、市役所本庁舎1階市民コーナーにモニターを設置しておりますので、どうぞお気軽にご覧ください。



議会中継のようす



車イス用の通路(本会議場)

ご自宅のパソコン等を使ってインターネットによる会議録検索・閲覧もできます。

アドレス <http://www.kaigiroku.net/kensaku/akaiwa/akaiwa.html>
ぜひご利用ください。

を開催 議長・副議長を選出

また、この改選に伴い、各委員会および一部事務組合議員の構成が変更されました。

各委員会構成

産業建設常任委員会	
役 職 名	議 員 氏 名
委 員 長	金 谷 文 則
副 委 員 長	山 下 浩 史
委 員	小 引 美 次
〃	小 倉 博
〃	川 手 辰 夫
〃	行 本 恭 庸
〃	森 川 勸 治

議会運営委員会	
役 職 名	議 員 氏 名
委 員 長	下 山 哲 司
副 委 員 長	川 澄 章 子
委 員	海 野 雅 之
〃	北 川 勝 義
〃	原 田 素 代
〃	金 谷 文 則
〃	山 下 浩 史

議会広報編集特別委員会	
役 職 名	議 員 氏 名
委 員 長	金 谷 文 則
副 委 員 長	川 手 辰 夫
委 員	海 野 雅 之
〃	川 澄 章 子
〃	北 川 勝 義
〃	原 田 素 代
〃	治 徳 義 明

総務文教常任委員会	
役 職 名	議 員 氏 名
委 員 長	北 川 勝 義
副 委 員 長	治 徳 義 明
委 員	山 田 秀 士
〃	下 山 哲 司
〃	海 野 雅 之
〃	佐 藤 武 文
〃	福 木 京 子
〃	大 口 浩 志

赤磐市元職員及び職員の背任及び虚偽公文書作成容疑調査特別委員会	
役 職 名	議 員 氏 名
委 員 長	小 倉 博
副 委 員 長	岡 崎 達 義
委 員	海 野 雅 之
〃	山 田 秀 士
〃	下 山 哲 司
〃	森 川 勸 治
〃	原 田 素 代

厚生常任委員会	
役 職 名	議 員 氏 名
委 員 長	原 田 素 代
副 委 員 長	岡 崎 達 義
委 員	樺 野 志 郎
〃	実 盛 祥 五
〃	小 田 百 合 子
〃	川 澄 章 子
〃	松 田 勲

議長あいさつ

議長 小田百合子



4月の臨時議会において市議会議長に就任いたしました。

前佐藤武文議長の後を受けこれからの2年間、この重責を努めさせていただきます。

全国的にみても、市民の皆さまから議会に対しての改革を求める声や批判が多くなっている中、赤磐市も分かりやすく開かれた議会運営を目指していかなければなりません。

間もなく始まる本会議のインターネット中継、

今回の選挙からは議員定数の削減と、少しずつ進んでいる議会改革ですが、これをさらに細かいところまで踏み込んで議論していきたいと思います。

近い将来、議会基本条例の制定に向けた検討を始めたといっています。が、そのためには議員の皆様方にご協力いただき、共に知恵を出し合っていく必要があります。

市民の皆さまから信頼していただけるように、透明で公正な議会運営を心がけてまいります。

今後とも、市議会に対し温かいご支援をお願い致します。

ご活用ください！

インターネットで会議録検索

平成20年6月2日より、本会議の会議録がインターネットで検索できるようになりました。

これにより、今まで図書館でしか読むことのできなかった会議録が、ご自宅のパソコン等でも自由に閲覧することができ、大変便利です。



会議録を見る方法

方法① 赤磐市のホームページを開き、「赤磐市議会」→「会議録検索」と開いていく。

方法② ブラウザを立ち上げ、アドレスバーに直接下記のアドレスを入力する。

<http://www.kaigiroku.net/kensaku/akaiwa/akaiwa.html>

※ インターネットで検索できる会議録は、平成20年3月第2回定例会以降のものとなります。

※ 市内の図書館(中央、赤坂、熊山、吉井)においては今まで通り冊子の会議録を閲覧できます。

6月定例会のお知らせ

次回6月定例会は、6月9日から6月29日まで21日間の会期で開催予定です。

多くの皆様の傍聴をお待ちしております。

編集後記

4年任期の半分を終え、この号で新しい編集委員とバトンタッチです。広報編集委員として、議会が開催されるたび4回程度の委員会を開き、役割分担をして仕上げました。新人の議員としては、議会の復習を毎回しているのと同じで、大変勉強になりました。自分たちが分かりにくい事は、皆さんにも分かりにくく、いかに伝わりやすい議会だよりにするか苦労しました。限られたページ数の中での作業は、伝えたいのに伝えられないものどかしさもありました。しかし、新しい委員と一緒に、議会で行われていることを、最大限お伝えしたいと思っています。

議会広報編集特別委員

委員長	金谷 文則
副委員長	川手 辰夫
委員	海野 雅之
委員	川澄 章子
委員	北川 勝義
委員	原田 素代
委員	治徳 義明